

平成25年2月分の調査・駆除件数に関する考察

1. 2月は、1月に発見された中央区及び12月に発見された早良区・城南区では発見・駆除されなかったが、博多区でおおよそ1年半ぶりにセアカゴケグモが発見・駆除された。
なお、博多区では平成20年11月、平成23年10月以来、通算3件目の発見となる。
発見・駆除数とも東区が多いという傾向に変化はない。
2. 以下のような状況から成体数の減少については、季節変化に伴うものや定期的・計画的な駆除による効果が考えられる。
 - (1) 2月はセアカゴケグモの駆除数が1月に比べ32%減少し、12月に比べ9%増加、11月に比べ42%減少し、10月に比べ54%減少している。
 - (2) 2月は41件の定期的・計画的な調査・駆除を行ったが、うち11件でセアカゴケグモは発見されなかった。
3. 卵のう数は、2月は1月に比べ73%増加、12月に比べ29%増加している。